

腹腔鏡下胃全摘術を受けられる患者様へ

氏名 (@PATIENTNAME)

担当医師 ()

受持ち看護師 ()

月日経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目~7日目	8日目~退院
達成目標	手術の準備を整えることができる	不安なく手術を受けることができる 呼吸器症状(咳・痰)や発熱がなく手術を受けることができる	痛み止めを使用して傷の痛みをコントロールすることができる 創部からの出血がない 血圧などに異常がない	痛み止めを使用して傷の痛みをコントロールすることができる 病棟内を歩行することができる 深部静脈血栓症を起こさない 食事が開始できる 分食について知ることができる	痛み止めを使用して傷の痛みをコントロールすることができる 病棟内を歩行することができる 深部静脈血栓症を起こさない 食事が開始できる 分食について知ることができる	院内を歩行する事ができる 食事開始後、腹痛や37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる	過ごす事ができる 吐き気なく過ごすことができ、ダンピング症状を理解することができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 吐き気なく過ごすことができダンピング症状を理解することができる 食事療法について理解することができる	自己分食できる
治療	手術後の深部静脈血栓症予防の為に着用する弾性ストッキングの計測を行います	術後の深部静脈血栓症予防の為に手術室へ行く前に弾性ストッキングを着用します	手術後、心電図、血圧計フットポンプ、酸素マスクをつけます	医師の診察後に朝、酸素マスク、心電図をはずします	背中に入っている痛み止めの薬がなくなりましたら管を抜きます				
処置	お臍をきれいにします	手術が午後になる場合は点滴を行う場合があります	点滴があります 抗生剤の点滴があります 痛みが強い時は痛み止めの点滴を使います	点滴があります 抗生剤の点滴があります 痛み止めの内服薬が始まります	点滴があります (食事が半分摂取出来れば終了です)	点滴があります (食事が半分摂取出来れば終了です)			
薬剤	今まで飲んでた薬があれば医師、看護師にお知らせください	手術は、時 分頃からです	手術室で鼻から胃までチューブを入れる場合があります お腹の中に管が入る場合があります 使います	病室でレントゲン撮影があります 朝、採血があります		朝、採血があります レントゲン撮影があります		手術後5日目に採血とレントゲン撮影があります 手術後7日目に朝採血があります	
検査	採血があります								
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は看護師に声をかけて下さい	トイレを済ませ、術衣に着替え、歩いて手術室に向かいます	ベッド上安静ですが、身体の向きを変えることはできません 血栓予防の為足を曲げたり伸ばしたりしましょう	ベッドを起し、問題がなければ歩行することができます (初めて歩くときは看護師が付き添います)	病棟内を歩くことができるようになったらストッキングを脱ぎます	院内自由です (病棟外へ出られる時は声をお掛け下さい)			
リハビリ				理学療法士がリハビリを開始します	理学療法士がリハビリを行います	理学療法士がリハビリを行います			
栄養	夕食まで食事がとれます (病状により前日から、絶食で水分だけになることもあります)	水や食事をとることはできません うがいはできます	絶飲食です うがいはできます	医師診察後、水分が開始になります	医師の診察後食事が始まります 重湯から始まる予定です <u>10・15・20時に分食があります</u> (無理せずゆっくりとお食事を食べられてください)	食事が三分~五分粥になります <u>10・15・20時に分食があります</u>	食事が全粥になります <u>10・15・20時に分食があります</u>	食事が米飯になります <u>10・15・20時に分食があります</u>	患者様で分食ができるよう分け方を説明します
清潔	お臍の処置をした後に入浴して下さい			手術後はタオルで身体を拭きます	お腹の管が入っている間はタオルで身体を拭きます (洗髪もできますので看護師にお知らせください)	お腹の管が入っていない場合はシャワー浴ができます (看護師へご相談ください)			入浴できます 
排泄			麻酔がかかった後に尿の管が入る場合があります	トイレまで歩くことができれば尿の管を抜きます	手術前と同じように排泄することができます		お通じが硬いときや出にくいときは看護師にお知らせください		
教育指導	この用紙(クリティカルパス)を使用して説明します 主治医及び麻酔科医が手術や麻酔について説明します 手術室看護師が訪問します		 ご家族に手術結果を説明します。		食事の前に看護師より食事を食べる時の注意点について説明があります パンフレットを渡します			退院に向けて栄養士より自宅での食事に関する注意点について説明があります (ご家族が同席される場合は日程を調整しますので看護師にお知らせください)	看護師より退院後の注意点について説明があります
説明	栄養士から食事の注意点について説明がある場合があります				栄養士が食事について説明があります				